

議会報告会を開催しました

能代市議会では、市民の皆様に対して市政に関する情報を積極的に提供し、説明責任を果たすと同時に、皆様の意見を把握し、議会活動に反映させることを目的として、能代市議会報告会を1年に1回市内3会場で開催することとしております。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、感染拡大防止の観点から中止としましたが、今年度は10月16日に2年ぶりに開催しました。

令和4年度の議会の活動状況、決算、5年度当初予算等の審議概要について報告したほか、参加いただいた皆様から御意見を伺いました。班ごとの報告書等、詳細は市ホームページを御覧ください。



南部公民館会場の様子

当日いただいた御意見と、議員からの回答

意見 下水道の工事が延期され、来年度本線が通ることになっているが、自宅の前をいつ工事するか分からず、浄化槽を設置するか悩んでいる方がいる。遅れる理由やいつ頃になるか教えて欲しい。

答 下水道の布設については、国からの補助金でほとんどが行われているため、補助金の支給額によって計画が変更になることがある。時期は未定となってしまうが、計画されている地域については必ず実施していくことになる。また、浄化槽の設置には市の補助金もあるので、補助金を活用しての検討をお願いしたい。

意見 7月の大雨の際に悪土川の被災現場に足を運んだ議員が少なかった。自分の地域だけでなく、他の被災現場にも足を運ぶことはできないか。

答 今回の災害は二ツ井地域では避難指示が出ており、ほかの地域などでも被害があった。地元での災害対応に当たり足を運ぶことがかなわなかったり、二次災害に巻き込まれる可能性もあるため足を運ぶことができなかったということも御理解いただきたい。

意見 行政視察の結果をどのように反映していくのかが見えない。視察後はどのようにしているか。

答 各議員が問題意識を持って視察を行っており、担当部署に直接情報提供したり、視察した内容を用いて一般質問を行っている議員もいる。

意見 防災行政無線のテレホンサービスへの周知をしっかりと行ってほしい。

答 室内にいないと聞こえない場合もあるため、市でもテレホンサービスの番号のシールの配布や、広報への掲載など周知に努めているが、常に認識するための方法など課題を当局へも報告する。

意見 路線バスが廃止され、公共交通が減っていくことに不安を感じているが、今後どのようにしていくのか。

答 路線バスを維持していくために、市が多額の補助金を支出して運営している現状がある。市でも、路線バスを利用されていた方が困らないように乗り合いタクシーなどの事業を進めている。

意見 熊の被害への対策が見えてこないが、どのように考えているか。

答 檜山地域、常盤地域、仁耐地域において熊のゾーニング対策を行っているが、県との事業になることを御理解いただきたい。

このほかにも7月の大雨災害への対応、がん対策、洋上風力発電事業、旧崇徳小学校の利活用、毘沙門憩の森の利用状況等参加者から多数の御意見や御要望がありました。

会場、参加者数及び出席議員

○南部公民館 (参加者11名)
出席議員
藤田克美(班長)、安井英章、鍋谷 暁、藤田拓翔、阿部 誠、安岡明雄、渡辺優子

○中央公民館 (参加者7名)
出席議員
菅原隆文(班長)、菊地時子、今野孝嶺、畠 貞一郎、針金勝彦、後藤 健

○向能代公民館 (参加者6名)
出席議員
武田正廣(班長)、相場未来子、大高 翔、渡邊正人、小野 立、落合範良

※安井和則議長は3会場を巡回しました。

参加者アンケートより

問 議会報告会に参加していかがでしたか。(1つ選択)

- ・よかった……………7名
 - ・どちらかといえばよかった……………4名
 - ・ふつう……………3名
 - ・どちらかといえばよくなかった……………0名
 - ・よくなかった……………0名
 - ・わからない……………1名
 - ・わからない……………0名
 - ・無回答……………7名
- 市議会や議会報告会に対する意見**
- ・市議会での討論が少ない。当局からの提案だけでなく議員からの意見、提案を出し、議員の質を向上してほしい。
 - ・議会報告会の内容が昨年度のみだったが、今年度の9月末までの報告にできなかったのか。